

令和8年1月20日

報道機関各位

長岡市教育委員会学校教育課長



長岡市

「熱中！感動！夢づくり教育」を支える歴史ある取り組み

## 長岡市教育研究論文表彰式を開催

長岡市教育委員会は、昭和30年度から<sup>※1</sup>教育研究論文事業を行っています。

これは、長岡市の教職員のレベルアップと児童・生徒の学力の維持・向上への寄与を目的として、市立学校の教職員が工夫を凝らした研究実践を行い、その成果を論文にまとめるもので、米百俵のまち長岡を象徴する歴史と伝統ある取り組みです。

このたび、今年度応募があった68編の論文の中から、4編の優秀論文、2編の入選論文、13編の佳作論文（R7年度新設）を決定<sup>※2</sup>し、表彰式を行います。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

### 長岡市教育研究論文「表彰式」

- 1 日時 2月3日（火）午後4時～4時40分
- 2 会場 さいわいプラザ4F 中央公民館大ホール（長岡市幸町2-1-1）
- 3 出席者 入賞者19人（別紙のとおり）  
教育長、教育センター所長ほか

#### 4 内容

- (1) 優秀証・入選証の授与
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 優秀論文執筆者の感想発表（4人）
- (4) 講評



令和6年度 表彰式の様子

※1 昭和30年の事業開始から今年度で70年となりますが、昭和37年度から40年度まで4年間の中断と平成16年度の中止があり、表彰は今年度で66回目となります。

※2 優秀論文は教育センターのホームページに掲載し、教職員が活用できるようにします。提出された全ての論文68編は教育センターに保管し、閲覧可能になっています。

教育センターホームページ：<https://www.kome100.ne.jp/nkcenter/>

問い合わせ：学校教育課 教育センター 山田  
電話0258-32-3746

令和7年度 長岡市教育研究論文 表彰概要

1 入賞者

	学校名	氏名	論文テーマ
優秀論文 (4編)	表町小学校	おみ あやか 尾身 綾香	意欲的に音楽づくりに取り組むための単元デザインの工夫 －「場所」をテーマに、思いや意図をもって協働的に つくるオリジナルソング－
	四郎丸小学校	ひこさか ともみち 彦坂 知道	生成AIを活用した児童の「深い学び」を促進する授業づ くりの工夫 －第4学年 空気と水の実験を通した思考力の育成を 目指して－
	関原小学校	むらかみ 村上さおり	通常学級におけるセルフアドボカシーの基盤づくり －心理的安全性を土台とするユニバーサルなアプローチ を通して－
	大河津小学校	ほんだ あきら 本田 明	多面的・多角的な思考が生まれる道徳授業 －「条件変更」と「効用検討」の補助発問を主軸とし て－
入選論文 (2編)	阪之上小学校	みこしばなおゆき 御子柴直之	数量関係を整理し、関数の考えを使って問題を解決す る子の育成 －第5学年「単位量当たりの大きさ(1)」の実践を通 して－
	阪之上小学校	きくち ゆき 菊地 有貴	図形の性質を根拠に、仲間と考えを比較しながら学ぶ子 どもの育成 －第5学年「正多角形と円」の実践を通して－
佳作論文 (13編)	阪之上小学校	さくらい りょう 櫻井 諒	エージェンシーを発揮し、資質・能力を高める社会科授 業の創造
	阪之上小学校	せき あり 関 あゆみ	自ら問いをもち批判的思考から自己調整する子どもの 育成 －6学年「データの活用～よりよい学級にするために～」の 実践を通して－
	神田小学校	ながさわ としのり 長澤 俊紀	少人数学級における自己有用感を高める承認活動の実 践 －承認の可視化・蓄積・振り返りを通した児童の成長 の検証－
	千手小学校	いけだせいたろう 池田清太郎	子どもが「心の動き」から見方・考え方を深める社会 科授業 －思いを膨らませる歴史的事象や人物の教材化、価値観を 揺さぶる資料提示を通して－
	宮内小学校	ふじた ゆうた 藤田 優太	意味から手続きへの移行時における図の効果の検証 －6年「分数かける分数」、6年「円の面積」の実践をと おして－
	宮内小学校	かたぎり りか 片桐 里香	A児を核とした人間関係づくりの試み －年度初めの諸活動を通してA児の自己肯定感を高め る－
	太田小学校	さかい ゆうき 酒井 佑貴	自分の思いを豊かな言葉で表現する児童の姿を目指し て －「自分流枕草子」制作の実践を通して－
	深沢小学校	ひらい けいこ 平井 恵子	地域とつながり郷土愛を育み、自己の生き方を考える 児童の育成 －地域に根ざす伝統文化を対象に探究的・協働的な学 びを積み重ねて－
	希望が丘小学校	みこしばえみ 御子柴瑛美	児童の主体性を育む「ストーリー性のある単元構成」と 「課題提示」の工夫 －第1学年「ひきざん」の実践を通して－
	希望が丘小学校	せきやこういちろう 関矢浩一郎	情景を想像し、思いをもって歌唱表現する児童の育 成 －歌詞の比較と、「歌カード」を活用した授業実践を通 して－

与板小学校	かねこみやこ 金子美也子	児童の成長と行動変容を目指した校内チームのアプローチ ートータルサポートシステムによるチーム機能の充実と心理的基盤の両立に着目してー
東中学校	はやしりお 林 莉央	主体的に課題解決に取り組み、深い学びを追求する生徒の育成 ー中学校家庭科「食分野」における自由進度学習の実践を通してー
高等総合支援	いわさかまさと 岩坂 聖人	チャレンジング行動を示す生徒の「困り」を軽減するための支援 ー適応行動の増加を目指した包括的なアプローチー

## 2 選考について

### (1) 評価のポイント

- ・研究内容が児童生徒の課題に正対し、課題解決への具体的提案性をもつこと。
- ・結論や結果が児童生徒の変容の姿や客観的データに基づき導き出されていること。
- ・主題設定の理由、仮説、検証、結論の流れが論理的で、矛盾がないこと。

### (2) 論文審査員

新潟大学 中島 伸子 教授  
森 恭 教授

長岡市教育委員会指導主事等 18人